

## リファジン カプセル 150mg

### 【この薬は？】

販売名	リファジン カプセル 150mg Rifadin Capsules 150mg
一般名	リファンピシン Rifampicin
含有量 (1カプセル中)	150mg (力価)

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗生物質製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌のRNA（リボ核酸）の合成に関わる酵素をおさえることで、細菌の増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

#### 〈適応症〉

肺結核およびその他の結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（MAC）症を含む非結核性抗酸菌症、ハンセン病

#### 〈適応菌種〉

本剤に感性のマイコバクテリウム属

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要で

す。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・胆道閉塞または肝臓に重篤な障害のある人
- ・ルラシドン塩酸塩、タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン、ペマフィブラート、チカグレロル、ロルラチニブ、ポリコナゾール、イサブコナゾニウム硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩、リルピピリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩・エムトリシタビン、ドルテグラビルナトリウム・リルピピリン塩酸塩、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ドラビリン、カボテグラビル、カボテグラビルナトリウム、レナカパビルナトリウム、ソホスブビル、レジパスビル アセトン付加物・ソホスブビル、ソホスブビル・ベルパタスビル、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、アメナメビル、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビルフマル酸、アルテメテル・ルメファントリンまたはプラジカンテルを使用している人
- ・過去にリファジンカプセル 150mg に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去に過敏症のあった人
- ・副腎皮質不全のある人
- ・慢性甲状腺炎のある人
- ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [ルラシドン塩酸塩（ラツェダ）、タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン（オプスミット）、ペマフィブラート（パルモディア）、チカグレロル（ブリリンタ）、ロルラチニブ（ローブレナ）、ポリコナゾール（ブイフェンド）、イサブコナゾニウム硫酸塩（クレセンバ）、ホスアンプレナビルカルシウム水和物（レクシヴァ）、アタザナビル硫酸塩（レイアタツ）、リルピピリン塩酸塩（エジュラント）、リルピピリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩・エムトリシタビン（オデフシ）、ドルテグラビルナトリウム・リルピピリン塩酸塩（ジャルカ）、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩（ゲンボイヤ）、ドラビリン（ピフェルトロ）、カボテグラビル、カボテグラビルナトリウム（ボカブリア）、レナカパビルナトリウム（シュンレンカ）、ソホスブビル（ソバルディ）、レジパスビル アセトン付加物・ソホスブビル（ハーボニー）、ソホスブビル・ベルパタスビル（エプクルーサ）、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル（マヴィレット）、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩（ベムリディ）、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩（ビクタルビ）、アメナメビル（アメナリーフ）、ニルマトレルビル・リトナビル（パキロビッド）、エンシトレルビルフマル酸（ゾコーバ）、アルテメテル・ルメファントリン（リアメット）、プラジカンテル（ビルトリシド）など] や、併用を注意すべき薬がありま

す。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。  
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

#### 〔肺結核およびその他の結核症の場合〕

通常1回3カプセルを1日1回朝食前の空腹時に飲みます。

ただし、他に併用する抗結核薬がある場合は、1週間に2日だけ使用することがあります。

#### 〔MAC 症を含む非結核性抗酸菌症の場合〕

通常1回3カプセルを1日1回朝食前の空腹時に飲みます。

#### 〔ハンセン病の場合〕

1 回量	4 カプセル	3 カプセル
飲む回数	1 ヶ月に1~2 回、朝食前の空腹時	1 日1 回、朝食前の空腹時

他の抗ハンセン病剤と併用します。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

レッドマン症候群（皮膚・唾液・涙液・汗・顔面が橙赤色になる）、吐き気、嘔吐（おうと）、腹痛、肝肥大、黄疸（白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる）、AST・ALT等の上昇、頭痛、顔面又は眼窩周囲浮腫（顔のむくみ、目が腫れぼったい）、急性肺水腫（息苦しい、咳）、嗜眠（刺激がないと眠ってしまう）、意識障害（意識の低下）、けいれん（顔や手足の筋肉がぴくつく）、低血圧（ふらつき、立ちくらみ）、洞頻脈（脈が速くなる）などがあらわれることがあります。心室性不整脈（めまい、動悸（どうき））などがあらわれることがあり、場合により、心停止にいたることもあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ハンセン病治療のために飲む場合は、飲み始める前に治療について十分理解できるまで説明を受けてください。
- ・重篤な肝機能障害がおこることがあるので定期的に肝機能検査がおこなわれます。
- ・この薬を間欠投与または投与を一時中止し再投与する人は、アレルギー性の副作用（ショック、アナフィラキシー、腎不全、間質性腎炎、溶血性貧血）があらわれやすいので、これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・尿、便、唾液、痰、汗、涙などが橙赤色になることがあります。また、ソフトコンタクトレンズが変色することがあります。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

### 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



重大な副作用	主な自覚症状
劇症肝炎等の重篤な肝機能障害 げきしょうかんえんとうのじゅうとくなくんきのうしょうがい	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、体がだるい、吐き気、食欲不振、意識の低下
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重の増加
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
偽膜性大腸炎等の	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、

重大な副作用	主な自覚症状
血便を伴う重篤な 大腸炎 <small>ぎまくせいだいちょうえん            とうのけつべんをともなう            じゅうとくなだいちょうえん</small>	発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる、お腹が張る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、激しい腹痛、下痢、嘔吐
中毒性表皮壊死融 解症（TEN） <small>ちゅうどくせいひょうひえ            しゅうかいしょう（テン）</small>	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 （スティーブンス ジョンソン症候群） <small>ひふねんまくがんしょうこ            うぐん（スティーブンスジョ            ンソンしょうこうぐん）</small>	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
扁平苔癬型皮疹 <small>へんぺいたいせんがたひし            ん</small>	紅～紫色で平らにややもり上った発疹
天疱瘡様および類 天疱瘡様皮疹 <small>てんぼうそうようおよびる            いてんぼうそうようひしん</small>	全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水疱）やびらんが多発する、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をともなうことがある、ごくまれに粘膜が癒着することがある
紅皮症（剥脱性皮膚 炎） <small>こうひしょう（はくだつせい            ひふえん）</small>	ほぼ全身の皮膚が発赤する、発熱をしばしば伴う、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる
間質性肺炎 <small>かんしつせいはいえん</small>	咳、息切れ、息苦しい、発熱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、発熱、発熱をしばしば伴う、ふらつき、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、体がだるい、むくみ、体重の増加、体がかゆくなる、急激に体重が増える
頭部	めまい、意識の消失、頭痛、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、意識の低下、急な意識の低下
顔面	顔面蒼白、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	咳、吐き気、唇や口内のただれ、喉のかゆみ、歯ぐきからの出血、喉の痛み、嘔吐、血を吐く
胸部	息切れ、息苦しい、動悸
腹部	腹痛、お腹が張る、激しい腹痛、食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、関節の痛み
皮膚	ほぼ全身の皮膚が発赤する、全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ（水疱）やびらんが多発する、全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水疱）が多発する、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をとともうことがある、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、紅～紫色で平らにややもり上った発疹、全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、発疹
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、水のような便が出る、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる
その他	ごくまれに粘膜が癒着することがある

## 【この薬の形は？】

PTP シート	
形状	
全長	15.8mm
重さ	229mg
色	キャップ：青色不透明 ボディ：赤色不透明

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	リファンピシン（日局）
添加剤	結晶セルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸ポリオキシシル 40、ステアリン酸マグネシウム、ショ糖脂肪酸エステル カプセル：ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウム、赤色 102 号、黄色 5 号、青色 1 号

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：第一三共株式会社 (<https://www.daiichisankyo.co.jp/>)

製品情報センター

電話：0120-693-132

受付時間：9:00～17:30

（土、日、祝日、当社休日を除く）